

令和元年度第2回駒来塾検討委員会 議事要旨

《日 時》	令和元年12月19日(木) 午後2時～午後3時
《場 所》	小牧市役所 東庁舎1階 会議室1-1
《議 事》	(1) 塾生の参加・学習状況について (2) アンケートの実施結果について (3) 来年度のスケジュールについて
《出席者》	委 員：山本委員 三谷委員 富田委員 長田委員 船橋委員 服部委員 光部委員 永井委員 余語委員 加藤委員 事務局：こども政策課：櫻井次長 小林係長 遠山主査 岩井指導員
《傍聴者》	なし
《会議経過》	以下のとおり

1 あいさつ

〔委員長〕 2学期も来週で終わり、駒来塾にも3年生が何名かみえると思いますが、その生徒達の進路決定の時期にも入っていきます。学習の相談等色々でてくるかと思いますが、いい結果に結びつくよう指導いただき、また本日の議題に来年度のスケジュール等出てくるかと思いますが、4月からいいスタートが切れるよう忌憚のないご意見いただきたいと思います。

2 議 事

(1) 塾生の参加・学習状況について

- ・資料1-1～4に基づき事務局より説明
- 東部・北里・味岡・小牧各地区塾長より状況説明

〔委員〕 東部地区については、以前より4グループに分けてAを個別指導が必要な生徒、B～Dを学年ごとに分けて実施しています。指導する側もグループ毎に担当を固定して実施しています。グループを固定することにより生徒の様子もだいぶ分かってきました。先生方の同じ生徒を継続して指導していきたいという希望もあり、この運営方法を継続していきたいと思っています。また、今1年生の生徒が4月に進級して弛まない様学習内容について、今一度考えていかないといけないと思っています。

〔委員〕 北里地区ですが、現在13名参加しています。1名休みがちで心配しています。3年生は全員女の子で明るい雰囲気の中、学習しています。逆に1、2年生は黙々とやるタイプの子が多いです。生徒、先生の関係

も良く明るい雰囲気の中で学習しています。内容としては前半ほとんど英語を学習し、後半各自もってきた教科を学習しています。

〔委員〕 味岡地区ですが、現在 11 名の生徒に対し、5 名の講師で指導しています。1 名の生徒については、学習意欲があまりなく、プリントを少しこなして、あとは担当の指導者と話をして過ごしています。また外国籍の生徒がいますが、漢字が書けず、時間があれば教科書を読んで学習していますが、読解力がないためどう指導していけばよいか考えています。

〔委員〕 小牧地区では、半分以上が 1 年生であり、2, 3 年生が 5 名参加しています。2, 3 年生は一生懸命学習していますが、1 年生は切実感がなく、質問することすらできない状況です。一部の生徒ですが、学習姿勢に問題があるというか親にこさせられているという感が否めません。こういった生徒にどう指導していくか今後の課題だと思います。この課題については、2, 3 年生の一生懸命学習している姿を見せ続けることも一つの解決手段とも思っています。

〔委員〕 東部地区の一部の生徒ですが、今まで教室に入ろうとしなかった生徒がいましたが、3 年生になり言われなくても入るようになりました。また、学校の方にも頑張っているという話を聞いています。ワークも持ってくるようになりました。ただ最近は進路も決まってただ来ているだけという状態になってしまっていますが、駒来塾は居場所づくりという観点もあるので、受け入れていく必要はあると思います。

（２）アンケートの実施結果について

資料 2-1～2 に基づき事務局より説明

東部・北里・味岡各塾長より状況説明

（３）来年度のスケジュールについて

資料 3 に基づき事務局より説明

〔委員〕 講師登録に今余裕があるように感じています。ある先生から指導しても月に 1～2 回しか入れず間があいてしまって、その間こういった指導をしたかが分からないので、継続的に指導していきたいという意見を頂いています。個人記録表があるのでそちらを活用してもらうよう言っていますが、記録表もうまく伝わらない部分があると思います。継続的な指導はできたらいいとも思っていますが、事務局の考えはどうですか。

〔事務局〕 駒来塾も今年度で 3 年目を迎え、ローテーションの事については、以前より色々ご意見いただいておりますが、事務局としては、色々な方

にこの事業に携わっていただきたいと思いますし、また、先生方の都合、特に大学生については、学校や就職活動など忙しい中でご協力いただいております。ローテーションを固定し、都合が悪くなった場合、今まで携わっていなかった方に急遽代わって頂くことは難しいと考えています。以上の事から今後もローテーションを維持していきたいと考えています。また、課題として地区ごとの登録者の偏りも現状見受けられています。本人の配置希望を優先しているため、今後地区の現状を鑑みながら配置を決定していきたいと思います。

〔委員〕 支援員とサポーターの割合は変更できないですか。

〔委員〕 一部の地区については、すでに弾力的に配置しています。今後は他地区においても、弾力的に配置する考えでいます。

〔委員〕 予算のこともあるかと思いますが、指導員の個人の考えで配置するようなことは避けて頂きたいと思います。また、生徒が何を学習したいかそれを先生方でサポートする場であると思いますので、事務局は先生方の要望ではなく、全体的な立場に立って運営していただきたいと思います。

〔委員〕 中には、学習中心ではなく居場所になっている生徒もいます。そんな生徒には、話ができる先生が固定で対応した方がいいのではという思いもあります。

〔委員〕 固定した場合、その先生がいなくなってしまった場合、回らなくなってしまうです。避けていただきたいです。多数の先生が色々な生徒に携わって運営していく方がいいと思います。

〔委員長〕 今後もローテーションを組んで運営していくということで、よろしいでしょうか。

3. その他

3月頃に第3回検討委員会を予定している旨連絡。

今年度をもってこの検討委員会は廃止とし、来年度からは新たに運営委員会を立ち上げる旨報告。